

地域再生計画評価調書

計画の名称	町田市まち・ひと・しごと創生推進計画	事業の名称	町田市まち・ひと・しごと創生推進事業
-------	--------------------	-------	--------------------

★基本目標 1

目標の名称	経済活動を盛んにする	関連事業の名称	経済活動を盛んにする事業		
事業概要	商業を中心とした産業の育成や起業の促進などを通じて、時代のニーズに応じたサービスを生み出し、地域で働ける環境をつくることで、地域の経済活動を盛んにし、活力ある地域を形成していきます。		具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業・創業の魅力を発信</li> <li>・事業者の新分野・新技術への進出支援</li> <li>・里山環境の活用と保全</li> <li>・デジタルシフトの推進／市役所の生産性の向上</li> <li>・行政サービスのデジタル化推進 等</li> </ul>	
	重要業績評価指標（KPI）	現状値 (計画開始時点)	実績値 (2022年度)	目標値 (2024年度)	備考
	●居心地がいい場所と時間が町田市にあると思う市民の割合	76.4%	74.3%	78.9%	政策 3
	●行政手続きの利便性が向上したと感じる市民の割合	49.1%	57.1%	56.8%	基本方針 1
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校高学年向けの起業家育成プログラムや大学生等に向けた創業スクール等のセミナーを開催し、起業・創業の魅力を発信したほか、町田総業プロジェクトのセミナーや相談会等を実施し創業を支援しました。</li> <li>・町田市事業承継推進ネットワークを通じ、個別相談やセミナーの開催、資金調達サポート等多様な支援を実施し円滑な事業承継を進めました。</li> <li>・町田薬師池公園四季彩の杜西園は四季ごとの特色あるイベント開催の効果もあり、過去最高の延べ134万人の来園者数となりました。</li> <li>・里山における未利用の山林活用や放置竹林の課題解決のため、民間企業と新たな包括的連携協定を締結し、市有山林の再生に着手しました。</li> <li>・デジタル化推進の取り組みとして、タブレット端末を活用した訪問調査、介護認定業務のデジタル化、Web口座振替受付サービスの導入等を実施したほか、LINEなどのオンライン申請サービスを活用し、87件の行政手続のオンライン化を実施しました。</li> </ul>		外部評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの賑わいの落ち込みはコロナの影響があったと考えられるが、里山をはじめ多くの取り組みで成果が出ている。近郊のまとまった緑として、町田の里山での活動が今後どこまで広がっていくか期待したい。</li> <li>・行政手続きの利便性向上は、他市と比較しても既に先進的な取り組みを進めていると評価できる。メタバースの取り組みはボトムアップ手法の好事例でデジタル化推進に貢献している。産学連携を進めるなど新たな取組みに挑戦することで更に便利な市役所を目指してほしい。</li> <li>・指標の数値が低下している事業は、市事業の周知不足が原因とも考えられるので、新たな広報手段の活用による情報発信を強化するとよい。</li> </ul>	
2022年度 寄附件数	0 件	2022年度 寄附額	0 円		

★基本目標 2

目標の名称	人々が交流するまちづくりを推進する		関連事業の名称	人々が交流するまちづくりを推進する事業		
事業概要	人々が集まる商業などの賑わい、文化芸術、スポーツ、地域づくりなど、地域資源をいかした町田発の取り組みを生み出す場や体制づくりを進め、多様な世代の活躍を実現します。また、これらの活動や交流の場を含むまちの魅力を発掘、創造、発信していき、多様な世代の活躍、交流を拡大していきます。		具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シティプロモーションの推進</li> <li>・シティセールスの推進</li> <li>・ホームタウンチーム等との連携の推進</li> <li>・地域活動団体支援</li> <li>・地域における福祉の困りごと相談支援体制の強化</li> <li>・中心市街地の賑わい空間の創出 等</li> </ul>		
重要業績評価指標 (KPI)			現状値 (計画開始時点)	実績値 (2022年度)	目標値 (2024年度)	備考
●居心地がいい場所と時間が町田市にあると思う市民の割合 (再掲)			76.4%	74.3%	78.9%	政策 3
●市内で学習やスポーツに触れる機会があった市民の割合			32.9%	25.8%	38.0%	政策 4
●地域活動に参加したことがある市民の割合			25.8%	24.4%	30.0%	政策 6
●困ったときに助けてもらえる人がいる市民の割合			73.0%	78.3%	75.1%	政策 6
●自分らしく生活できている市民の割合			83.1%	80.0%	85.7%	政策 7
●市外の人に薦めたい場所が思い浮かぶ市民の割合			74.7%	73.9%	79.2%	政策 8
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的なメディアプロモートによるテレビ、新聞・雑誌等への露出により約11億700万円の広告効果 (広告換算額) を得ることができ、市の認知獲得につながりました。</li> <li>・市の中心市街地である原町田大通り、中央通りにて社会実験を実施し、休憩スペースの設置や路上での多数の出店により賑わいを創出しました。来街者の9割以上が、今後の継続に肯定的な回答をしました。</li> <li>・地域活動について、多くの活動団体の交流の場である「まちカフェ！」での情報発信の改善や、複数団体での協働イベントや学生とのイベント開催などの新たな挑戦への支援を実施し、さらなる活性化を図りました。</li> <li>・町内会・自治会と経験や得意なことを地域に役立てたい方をオンライン上でつなぐ「まちの腕きき掲示板」を活用し町内会・自治会の困りごとへの支援を実施しました。</li> </ul>		外部評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での市内や近隣への情報発信は効果があったが、アフターコロナにおいてはインバウンド観光も念頭に、デジタルでの外国人向けの発信も増やすことで活気あるまちづくりを進めるとよい。</li> <li>・市内には大学が多く、若者の住む・働く(アルバイト)場所として町田が選ばれているが、若者が楽しむ場所としてはまだ十分ではないと感じる。今後、町田駅をはじめ中心市街地をどう開発していくかがポイントになる。</li> <li>・更なる地域活動推進のために、地域で売上を生み出し地域活動に還元することや、地域通貨の導入などの仕組みづくりを検討して欲しい。</li> </ul>		
2022年度 寄附件数	4 件	2022年度 寄附額	596,026円			

★基本目標 3

目標の名称	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	関連事業の名称	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業		
事業概要	若い世代の結婚から出産・子育てなどの家庭を支えるための切れ目のない取り組みを進め、共働きでも仕事と両立しながら子育てしやすい環境、希望どおり子どもが持てる環境をつくります。		具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における相談支援の充実</li> <li>・送迎保育による多様な保育サービスの推進</li> <li>・保育の質の向上</li> <li>・新たな学校づくりの推進</li> <li>・学童保育クラブの整備</li> <li>・えいごのまちだの推進 等</li> </ul>	
重要業績評価指標 (KPI)		現状値 (計画開始時点)	実績値 (2022年度)	目標値 (2024年度)	備考
●合計特殊出生率		1.21	1.13	1.25	政策 1
●子育てしやすいまちだと感じる市民の割合		64.8%	73.5%	67.8%	政策 1
●子どもがいきいきと育つ地域環境が整っていると思う市民の割合		53.0%	57.7%	58.1%	政策 2
●将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合		小6:82.8% 中3:67.6%	小6:77.1% 中3:65.9%	小6:84.9% 中3:71.3%	政策 2
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出産後に助産師のケアを受けられる「日帰り型(医療機関・助産院での授乳・育児指導)」や「訪問型(自宅での相談等)」をより利用しやすくし申請件数を大幅に伸ばしました。</li> <li>・2022年4月に南町田病児保育室じんべえを開所したほか、川崎・相模原・八王子市との広域利用協定により病児・病後児保育を拡充しました。</li> <li>・2023年4月に南地域に認可保育所1園を整備し待機児童が減少しました。</li> <li>・「若者が市長と語る会」や「町田創造プロジェクト (MSP)」などで子どもが市政に意見を発信できる機会づくりを行いました。</li> <li>・学校統合等を契機として学校をより良い教育環境にするための「新たな学校づくりの推進」では、市内5地区で基本計画検討会の設置・開催を行い、検討結果を踏まえ「新たな学校づくり基本計画」を策定しました。</li> </ul>		外部評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年少人口の転入超過数の全国 1 位(政令指定都市を除く)は誇らしい。子育て分野の先進都市としての取り組みを継続して進めていると評価できる。さらに日本の子育て分野のリーディングシティを目指し、新たな発想による町田らしい取り組みの創出に挑戦してほしい。</li> <li>・出産・子育ての希望を叶える上で、教育環境も重要になる。学校の校舎・設備のハード面では環境配慮の観点を取り入れるとともに、授業等のソフト面にも町田ならではの魅力を取り込むことで、“町田で学びたい”と子どもたちが思える環境づくりを進めてもらいたい。</li> </ul>	
2022年度 寄附件数	1件	2022年度 寄附額	100,000円		

★基本目標 4

目標の名称	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る	関連事業の名称	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る事業		
事業概要	健康づくりの拠点や支援体制の構築とともに、良好な住環境の形成を促進し、健康で充実して暮らせるまちづくりを進めます。また、限られた行政財源の下、市内の公共交通の質の向上と公共施設の拠点への集約を進め、日常生活の利便性を維持向上させていきます。		具体的な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域介護予防活動支援</li> <li>・大きな・速い交通の整備</li> <li>・緊急避難行動要支援者の避難支援体制整備</li> <li>・都市計画道路の整備</li> <li>・公共施設再編の推進</li> <li>・市有財産の利活用 等</li> </ul>	
重要業績評価指標 (KPI)		現状値 (計画開始時点)	実績値 (2022年度)	目標値 (2024年度)	備考
●生きがいを持って暮らしている高齢者の割合		76.4%	72.5%	78.9%	政策 5
●市外の人に薦めたい場所が思い浮かぶ市民の割合 (再掲)		74.7%	73.9%	79.2%	政策 8
●日常生活に対して安心感をもつ市民の割合		67.3%	75.0%	71.1%	政策 9
●公共施設の利用満足度		89.9%	71.0%	90.0%	基本方針 3
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域介護予防のための町田市オリジナルのトレーニングである「町トレ」は既存グループへの継続的な活動支援に加え、さらなる周知活動を行ったことで、新たに活動を開始した団体数が増加しました。</li> <li>・多摩都市モノレールの町田方面延伸に向け、モノレール沿線のまちづくりについて、多摩市と連携し検討を進め、学識者を含めたまちづくり検討会を実施しました。</li> <li>・市民が交通安全に関する疑問等を気軽に聞ける「交通安全ミーティング」を子どもセンターや高齢者支援センター、障がい者を送迎する企業等にて実施し、情報収集・分析の上で情報発信などに活用しました。</li> <li>・健康福祉会館と保健所中町庁舎の2つの保健施設の集約においては、2024年度の基本計画策定に向けて、「教育センターの複合化」に関する導入機能等の見直しに併せて、プロジェクトの内容について再検討し、「町田市 (仮称) 子ども・子育てサポート等複合施設整備基本計画」を策定しました。</li> </ul>		外部評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる健康的なまちづくりと生きがい創出を進めるためには、元気で活躍できる高齢者に対して介護予防の観点だけでなく、就労支援・活躍の場の提供という観点からも活動支援できるとよい。生きがいの創出においては、地域活動・自治会活動の表彰を積極的に行うなど、活動の輪を市内全体に広げられるとよい。</li> <li>・日常生活での安心感については、自転車などの交通手段での町田ルールを作るなど、市民の安全安心につなげていってほしい。</li> <li>・アフターコロナで図書館等の公共施設の利用が戻ってくる中で、快適に施設利用してもらう工夫等が求められる。</li> <li>・多摩都市モノレールや都市計画道路整備の現状・将来像を市民に知ってもらうことが大事であり、理解を得ながら進めてほしい。</li> </ul>	
2022年度 寄附件数	2 件	2022年度 寄附額	246,610円		